

関西本線活性化利用促進三重県会議 事 項 書

令和7年8月18日(月)16:00～16:40
三重県庁 プレゼンテーションルーム

- 1 開会
- 2 関西本線の現状と取組について
- 3 今後の取組について(非公開)

※会議終了後、

・16:40～(目安 10分程度)

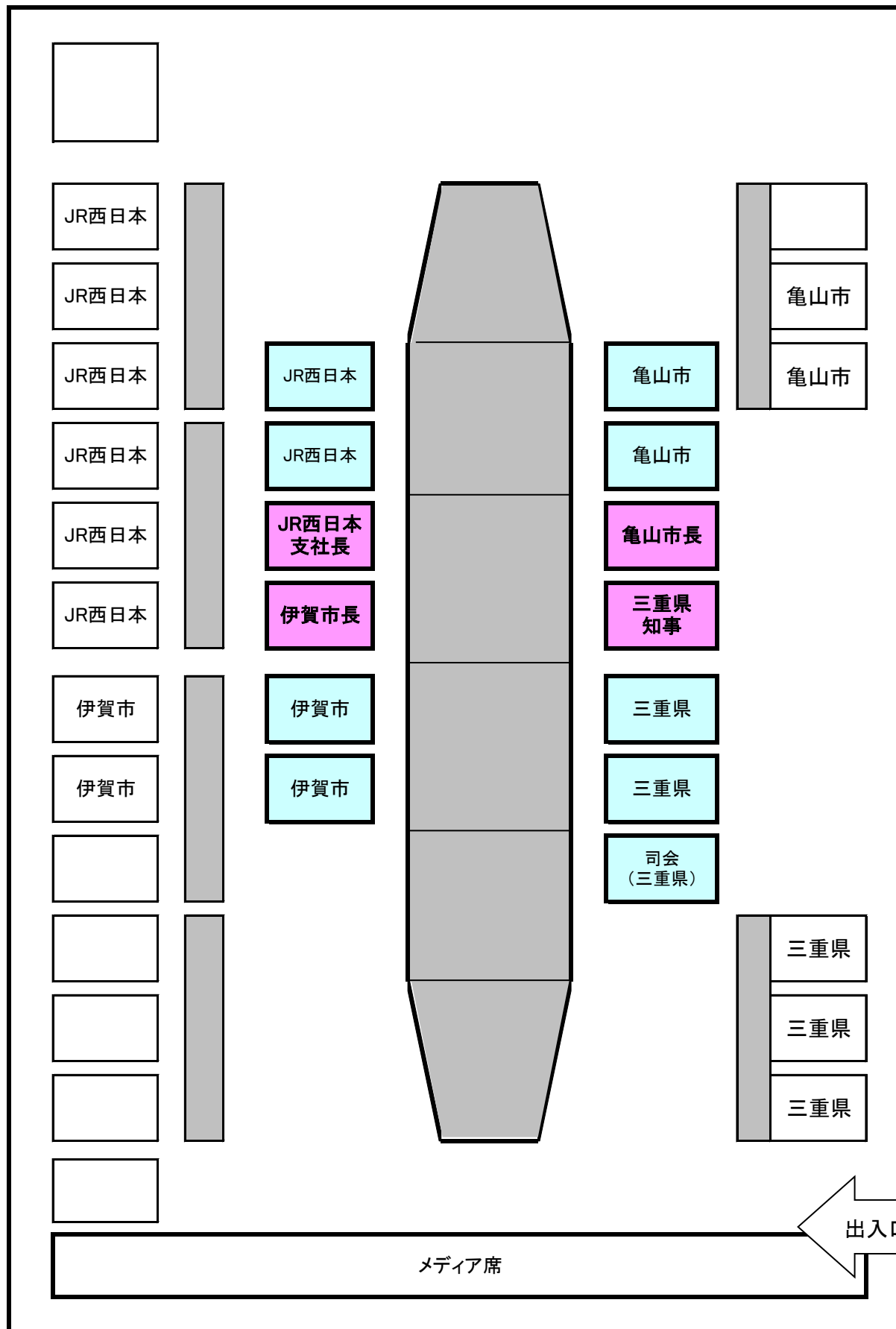
知事、亀山市長、伊賀市長、JR西日本阪奈支社長での取材対応

・16:50～

事務局での質疑対応

関西本線活性化利用促進三重県会議 座席表

令和7年8月18日(月)16:00~16:40 プレゼンテーションルーム



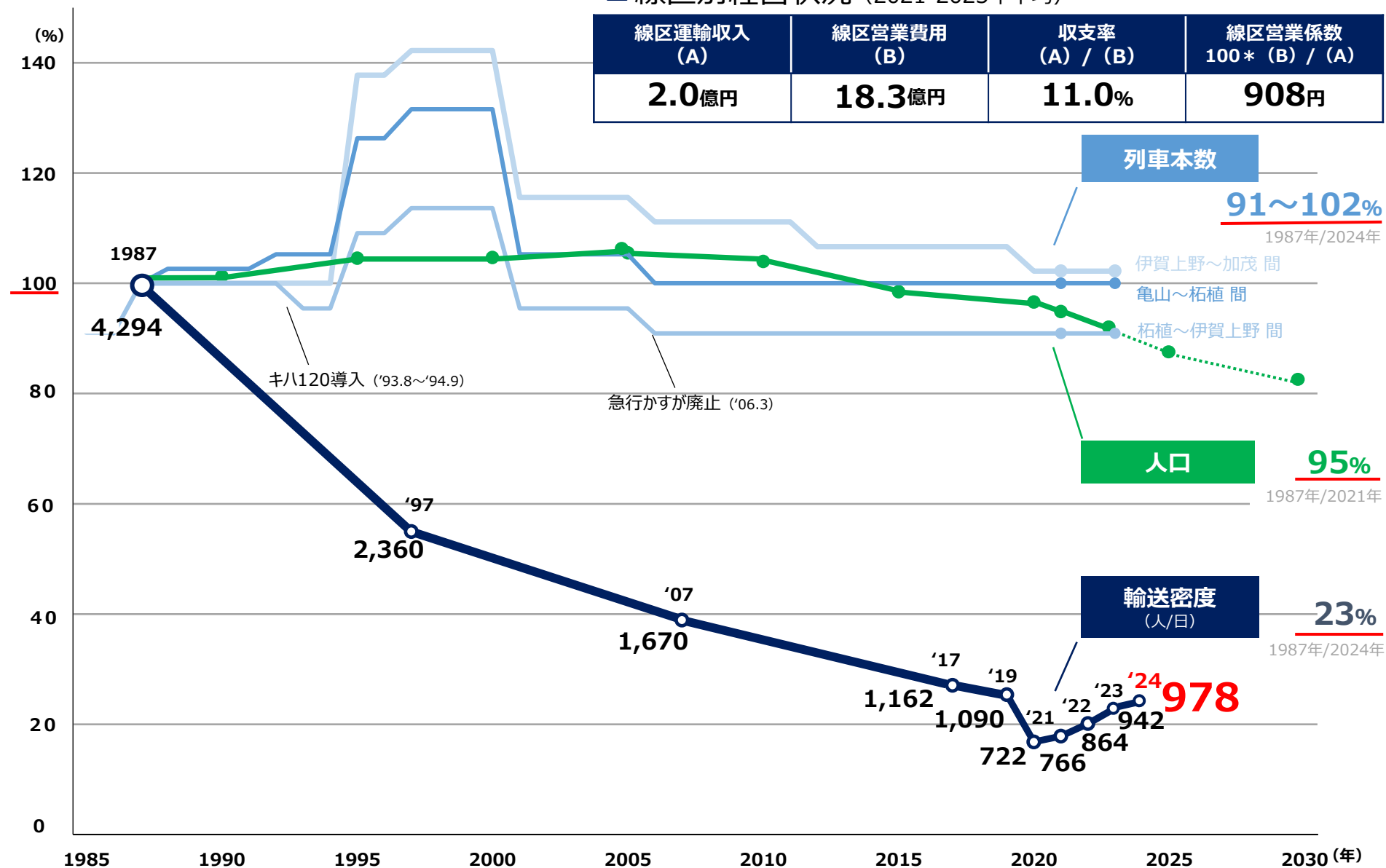
関西本線（亀山～加茂） 活性化に向けて

- 1．現状と課題
- 2．活性化に向けて

1. 現状と課題（ご利用状況の推移）

■ 線区別経営状況（2021-2023年平均）

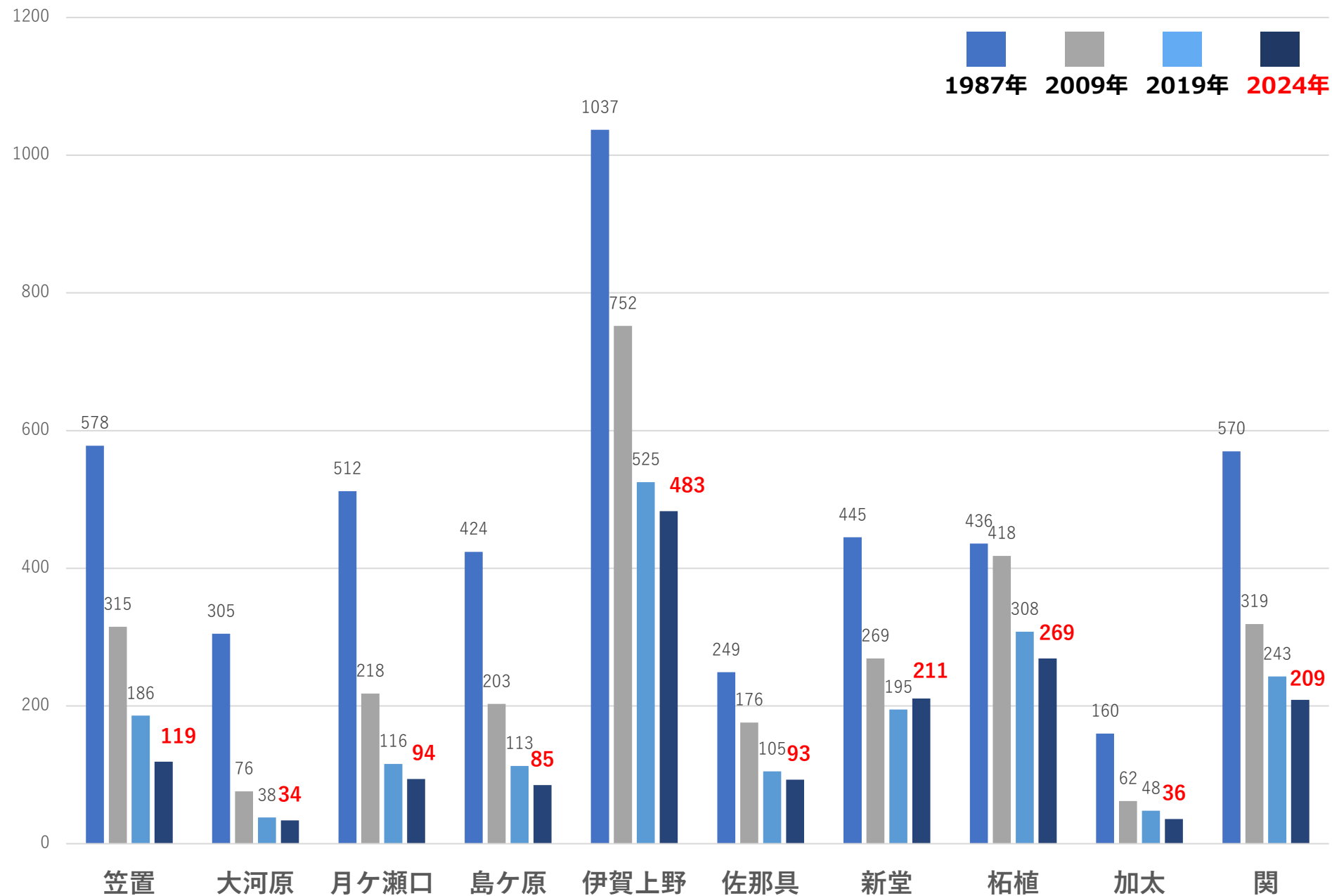
線区運輸収入 (A)	線区営業費用 (B)	収支率 (A) / (B)	線区営業係数 100 * (B) / (A)
2.0億円	18.3億円	11.0%	908円



出典：～2020年：政府統計の総合窓口(e-Stat) (<https://www.e-stat.go.jp/>) 都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)を基に作成
2025年～：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018)年推計)より作成

・人口推移は伊賀市・亀山市・笠置町・南山城村の人口合計、1987年・2021年は推計
・各数値は1987年を「100」として作成

■ 1.現状と課題（駅別乗車人員の推移: 1日あたり）



■ 2.活性化に向けて

関西線 沿線地域の活性化・魅力向上（両輪の議論）

地域内の日常利用
（移動需要の確保）

地域交通のデザイン

①トータル・モビリティによる
持続可能性・利便性向上

- ・結節機能強化
- ・二次交通の整備・充実、各交通機関の連携
- ・持続的なメンテナンス体制
- ・まちづくりとの連動 など

- ・調査事業制度等の補助制度活用
- ・京都府との連携

地域外からの取り込み
（観光需要の創出）

沿線全体のブランディング

②トータル・プロモーションによる
沿線の魅力・価値向上

- ・地域の観光素材のブラッシュアップ
- ・観光素材の発信
- ・旅行商品化（パッケージ化）
- ・イベント列車の活用 など

府県域を越えた沿線地域の
広域かつ一体的な連携

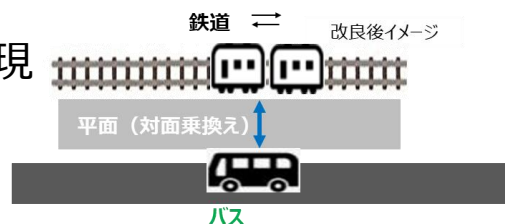
- ・三重県内地域連携DMOおよび
京都府内地域連携DMOとの連携

各種取り組みを踏まえ、**早期に方向性を整理/具体化**

① トータル・モビリティによる持続可能性・利便性向上

① 結節機能強化(イメージ)

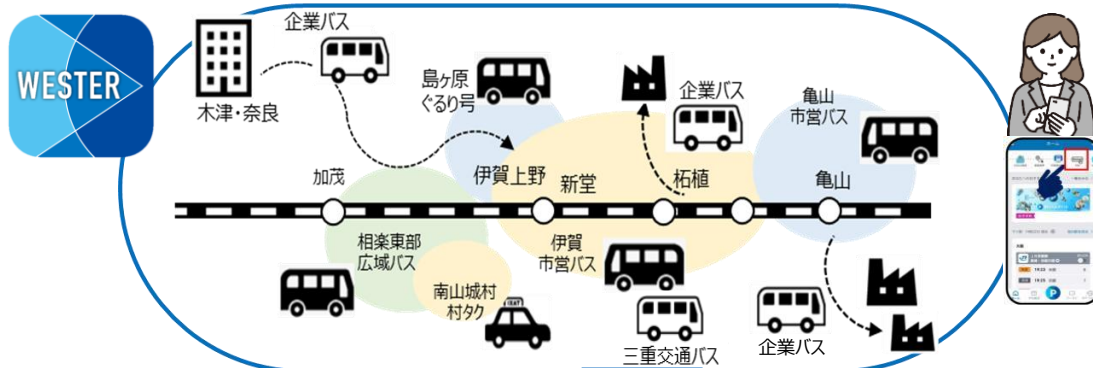
- ・駅などの、抜本的改修によりシームレスな移動を実現
⇒ 駅・運転設備等の改修による平面乗り換え



鉄道とバスの対面乗換（イメージ）

② 二次交通の整備・充実、各交通機関の連携（イメージ）

- ・地域内交通機関の連携・役割分担により移動ニーズを充足
⇒ WESTERアプリ「デマンド交通サービス機能（予約・配車・決済の一元化）」によるアクセス・利便性向上の実現



関西本線サポートバス
(相楽東部広域バス)



JR定期券で乗車可



③ 持続的なメンテナンス体制（事例）

- ・昼間時間帯 集中保守工事
⇒ 工事の安全性向上・夜間工事減による人材確保を目的に、昼間時間帯に線路工事等を実施。

④ まちづくりとの連動（事例）

- ・駅前整備・合築等
⇒ 駅周辺のにぎわいづくりに寄与

新堂駅(伊賀市)



加太駅(亀山市)



② トータルプロモーションによる沿線の魅力・価値向上

2024年度の取組み

観光庁補助金を活用した観光の取組み

○JR関西線 12駅 途中下車の旅（地域観光新発見事業）

関西線(関～加茂)で途中下車可能な企画切符+クーポン券(1,000円) セットにした商品を発売

各駅1～2時間で散策できるモデルコースを策定

(販売期間：2024年11月1日～2025年2月16日)

【事業実施効果と検証】

- ・ 連携共同会議が発足により、
沿線観光関係者間による連携開始
- ・ 様々なエリア、媒体でのプロモーション実施により
関西線の認知度向上



▲連携協働会議



▲チラシ

◀▼チラシ

○オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業※京都府様支援事業

京都市内のオーバーツーリズムを関西線エリア(奈良線含む)に分散、活性化を目的とした企画

(デジタルパス、デジタルスタンプラリー、施設入場券発売、プロモーション)

(販売期間：2024年11月15日～2025年1月31日)

【事業実施効果と検証】

- ・ “途中下車の旅”同様に、観光トップシーズンの販売が出来なかった
- ・ 外国人インバウンド客への訴求効果が限定的（パンフレットのみ）



大阪・関西万博を契機とした、域外からの誘客の取組み

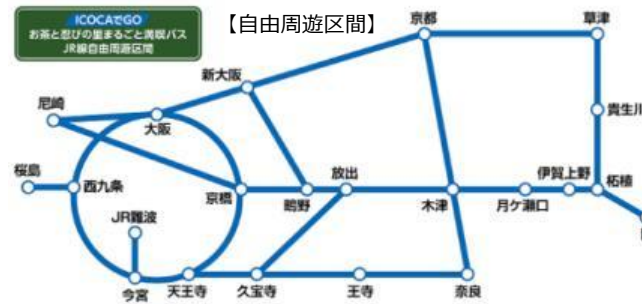
関西線エリアへプラスワントリップしていただくことを目的に、自由周遊 + JR線以外の鉄道（伊賀鉄道等）
+ 施設入場券等をセットにした商品を発売。

ICOCARTEO
お楽しみエリアのさまざまな施設・バス
設備が自由利用可能

【自由周遊区間】
京都 大阪

三重県観光部とも連携し商品PRを実施。

(発売期間：2025年4月1日～10月31日)



・2025 年大阪・関西万博の開催期間中、大阪駅・新大阪駅にて西日本各地の様々な魅力と出会うイベントとして開催。

・実施予定日：2025年8月31日（日）

・実施内容：新大阪駅にて関西線沿線エリアをPR予定

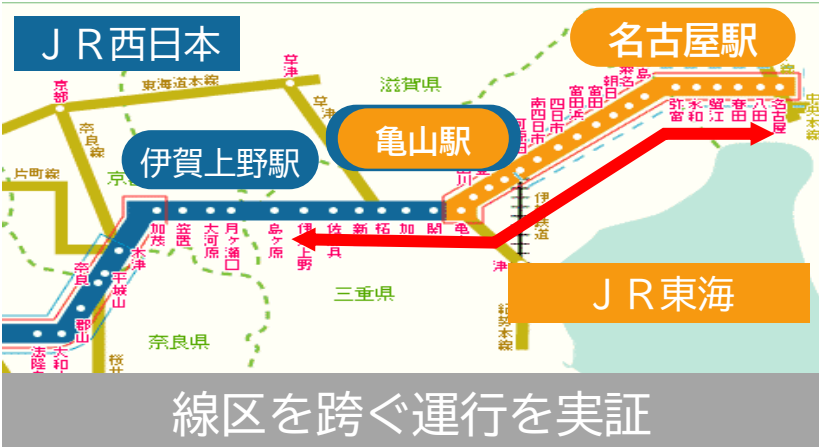


- ・インバウンド向け旅行商品の造成
- ・多言語対応のポスター・パンフレット作成
- ・インバウンド向けプロモーション動画作成

1. 事業の概要

沿線地域外からの観光を目的とした移動における
潜在需要の取り込みに関する検証を行うため、
名古屋駅と伊賀上野駅を乗り換えなしで結ぶ
「実証列車」を運行

【区間】名古屋駅～関駅～伊賀上野駅 ※各日
【時期】令和7年2月16日(日)、22日(土) 1往復



A colorful promotional poster for the 'Nagoya - Iga-Utsunoryu' proof train. The poster features a large image of the train and text in Japanese. It includes details about the route (名古屋 → 関・伊賀上野), the schedule (departure on February 16 and 22, 2025), and special features like '4 types of sightseeing plans' and 'exclusive train cars'. There are also smaller images showing various sightseeing spots and a QR code for more information.

「関西本線における大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行」結果概要

2. 結果概要 ～ (1) 沿線駅でのおもてなし



伊賀上野

いがうえの Iga-Ueno

—お出迎え—



▲ぜんざいのふるまい

—賑わいの創出—



▲上野市駅前の様子
(マルシェ開催、ガイド配置)

ご協力いただいた連携団体

- ・上野商工会議所 ・株式会社まちづくり伊賀上野
- ・伊賀上野観光協会 ・伊賀鉄道株式会社
- ・いがうえの語り部の会 ・三田地区
- ・三重県立上野高等学校 など

【ご協力いただいた
皆様の声】
“多くの方に来訪いた
だき、まちに賑わいが
生まれた”

関

せき Seki

—お出迎え—



【お客様の声】
“歓迎を受けている
ことが感じられ、
特別な気分になった”

—賑わいの創出—



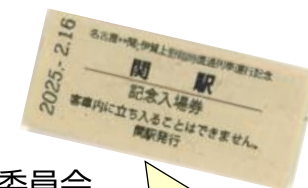
▲旧町屋での亀山茶のふるまい



▲関宿散策の様子(ガイドによる案内)

ご協力いただいた連携団体

- ・一般社団法人亀山市観光協会
- ・関宿案内ボランティアの会
- ・東海道のおひなさま亀山宿・関宿実行委員会
- ・大豊和紙工業株式会社 など



記念きっぷ等の配布

亀山市・伊賀市において、関西本線沿線駅での観光客おもてなし体制の整備が進んだ

「関西本線における大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行」結果概要

2. 結果概要 (2)列車の運行結果

- 定員(200名)の3倍を超える631名の申込
乗客の満足度:91.8%
亀山・伊賀市への再訪問希望度:89.4%

→沿線外からの観光需要取り込み可能性を確認

- 本実証列車の旅行商品発表時や運行初日に開催した
記念セレモニーはテレビや新聞等で数多く報道
→沿線の知名度が向上(広告換算値8,800万円)

- 観光を目的とした潜在需要の取り込みについては、
観光列車などの誘客に向けた取組や二次交通の充実などが
有効な取組策であることが想定される



【実証運行でみえた課題・改善点】

- ・事業者間での列車の運行に向けた技術的課題
- ・さらなる認知度向上に向けた情報発信
- ・列車内での観光案内実施

→2025年大阪・関西万博やインバウンドの拡大を好機と捉え、 今年度は「関西方面からの誘客・利用促進」による活性化を進める

【今年度の取組での観点】

- ・観光目的の潜在需要の取り込み可能性についてをアンケート及びご利用状況の推移等により検証
- ・乗客に対する列車内でのサービスの充実
- ・SNSなど効果的な情報発信手法の検討 など
- ・加えて、イベント列車に限らず、誘客・利用促進による沿線活性化も引き続き検討

関西本線沿線の魅力発信

関西本線ウォーキングガイドによる情報発信

- ・関西本線全体チラシの作成
- ・観光三重のHPにレポート記事を掲載し、ウェブでの情報発信を充実



ウォーキング
ガイドは
こちらから!



三重県フェアへの出展

- ・イオンモール熱田(愛知県)、桂川(京都府)で
関西本線の沿線の魅力を発信

令和7年度の取組方向性：「**観光**需要の創出」と「**日常**利用の確保」との両輪

観光

関西方面からの誘客・利用促進による
沿線活性化

—**観光列車の運行**などの取組を予算化

日常

二次交通の充実に向けた実証

—「関西本線活性化利用促進事業費補助金」に
基づき、沿線における市や協議会等の取組を支援

R6年度
創設!

【三重県】関西本線活性化・利用促進に向けた観光部の取組

R6

1. 「JR関西線12駅途中下車の旅きっぷ」

2024.11.1
～2025. 2. 16

亀山～加茂各駅間の途中下車が可能な企画切符と
施設クーポンをセット販売。
(各駅ごとに1時間単位で巡る周遊コースを創出)

駅ごとにスポットを当てることにより
沿線駅に秘められた魅力の掘り起こしに貢献



R7

2. みんなで考え、行動しよう！ ～JR関西線12駅を旅の目的地にするプロジェクト～

2025.7.1
～2025. 9. 30

機運醸成に向けたクラウドファンディングを実施。

12駅周辺の観光資源を組み合わせた
周遊・滞在に関するアイデアの募集
12駅の旅の魅力を伝えるシンポジウムを開催
(予定)



▲ふるさと納税の仕組みを活用

上記以外にも連携した取組を検討中

1. 亀山市関宿納涼花火大会(臨時列車)

【事業名】

亀山市の夏の風物詩である第32回亀山市関宿納涼花火大会の開催(臨時列車運行協力)

※西日本旅客鉄道株式会社による臨時列車運行協力

【期間】

令和7年8月23日(土)

【場所】

鈴鹿川河川敷亀山市関消防署西側グラウンド

【運行区間】

亀山駅～柘植駅間

【主催】

一般社団法人亀山市観光協会

【後援】

亀山市・亀山商工会議所



2. JR加太駅舎を活用した地域の活性化

【来訪者へのおもてなし】

地域の方々が駅舎を活用し、訪れた方々のおもてなしを行っています。また、駅舎内では、鉄道遺産をはじめとする地域の見所等を紹介しており、駅舎を活用した地域の活性化と鉄道の利用促進に努めています。

【活動内容】

- ・来訪者へのおもてなし
- ・音楽ライブ
- ・鉄道遺産PRの展示
- ・地域観光資源の案内及びPR
- ・各種サークル活動

【今後の活動】

- ・継続した地域活性化活動の展開
- ・鉄道と地域資源を活用した事業の展開

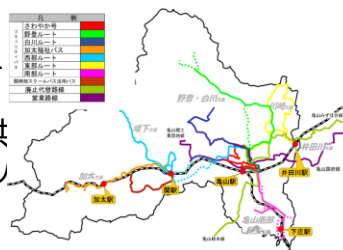


3. 共創による亀山市「交通空白」解消等リ・デザイン

【目的】

亀山市における現状の輸送サービスにおいて、地理的・時間的、世代的観点からの交通空白が生じている。

そのため、地域・交通事業者・行政等が三位一体となった共創により、鉄道、バス及びタクシーなど本市に係る全ての地域公共交通が一体となって機能する公共交通ネットワークを形成し、持続可能な地域性に応じた交通体系の構築と交通空白解消に向けた検討を進める。



【伊賀市】令和7年度の取組①



1. いがまち行政サービス巡回車の路線変更

関西本線との
乗り継ぎを配慮

実施概要

昨年度の実証実験の結果を踏まえ、いがまち行政サービス巡回車を新堂駅からあけぼの学園高校を経由するルートへ変更する。

期待する効果

あけぼの学園高校の通学時間帯の路線を変更することで、関西本線の二次交通としての利便性を向上させ、
関西本線の利用者増に繋げる。

新堂駅からあけぼの学園高校まで
通学に便利なバスを運行します！



4月1日より
運行開始

◆行きに便利なバス◆

新堂駅南口 7:47発 ⇒ あけぼの学園前 7:49着

新堂駅南口 8:46発 ⇒ あけぼの学園前 8:48着

◆帰りに便利なバス◆

あけぼの学園前 16:05発 ⇒ 新堂駅南口 16:08着

月曜日～金曜日運行(土・日・休日 及び12/29～1/3は運休)

2. 公共交通通学定期券等購入費重点支援助成金

実施概要

鉄道・バスの公共交通機関(伊賀鉄道区間を除く)を、通学定期券により利用する市民に対して助成する。

- 通学定期券の購入費に対して半額を助成 ※今年度より通学専用に発売されている回数券も対象
- 予算52,235千円を確保 ※国の物価高騰対応重点支援助成金地方創生臨時交付金を活用

関西本線の
利用者増の
効果も期待

定期券

公共交通機関の 優位性を アピール

2025大阪・関西万博の開催を好機と捉え、
市民及び企業を対象とした関西本線利用促進ポスターを作成
(掲出先)

実施主体:JR関西本線利用促進と電化を進める会(事務局:伊賀市)



ウォーキングを通して 沿線の魅力を発信

駅を起点としたウォーキングイベントを開催し、
 中核事業 関西本線沿線の魅力を伝える。

【タイトル】

【実施日】令和7年5月17日(土) 【申込数】100名(満員御礼)

実施主体：関西本線木津亀山間活性化同盟会(事務局：伊賀市)

